

愛知県感染症情報

Infectious Diseases Weekly Report

平成 19 年 14 週(4 月 1 週 4/2 ~ 4/8)

平成 19 年 3 月分月報

(作成) 愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

- ・ 注意する感染症
- ・ 定点医療機関コメント
- ・ 全数把握感染症発生状況

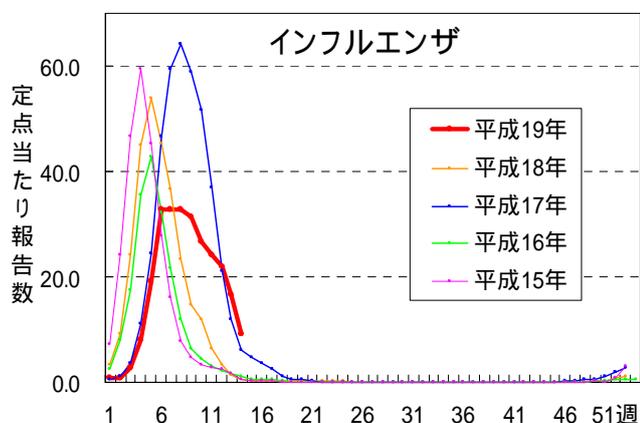
- ・ トピックス
- ・ 平成 19 年 3 月分月報
- ・ 定点把握感染症報告数
(保健所別、年齢別)

注意する感染症

インフルエンザ警報発令中および「集団かぜ」発生状況(第 43 報)

14 週の定点あたりインフルエンザ患者報告 9.3 人(前週比 0.6 倍、3,264 人 1,813 人)です。9 保健所管内で定点あたり患者報告数が 10.0 人以上 30.0 人未満となっています。インフルエンザ警報は定点あたり患者報告数が 10.0 人未満になるまで継続します。

「集団かぜ」は 4 月 11 日現在で延べ 635 施設から報告されています(概要は以下の発表内容をご覧ください)。これまでの患者からインフルエンザウイルス A 香港型および B 型が分離されています。



【発表内容】

- ・ インフルエンザ警報; <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hodo070208flukeyiho.pdf>
- ・ 第 43 報; <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hodo070410.pdf>

【参考ページ】

インフルエンザウイルス分離状況 http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri06_07.html



13 週

14 週

図 保健所別定点あたりインフルエンザ患者報告状況

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

インフルエンザ 51 名（A 型 46 名、B 型 5 名）

【一宮市 一宮市立市民病院】
インフルエンザはA型がほとんどです。

【一宮市 後藤小児科医院】
インフルエンザはA型 9 名、B 型 4 名

【一宮市 平谷小児科】
インフルエンザはすべてA型で終息傾向にあります。

【一宮市 医療法人かすがい内科】
インフルエンザはA型 4 名、B 型 1 名

【稲沢市 稲沢市民病院】
インフルエンザA型 4 名、B 型 1 名

【稲沢市 野村整形外科】

インフルエンザ感染症少なくなっていますが、A型の割合が増加しています。計 13 名（A 型 9 名、B 型 3 名。A、B ともに陽性 1 名）。

感染性胃腸炎の流行続いています。
伝染性紅斑 4 名ありました。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】
インフルエンザ 20 例。全てA型で胃腸症状を伴うもの多し。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
11 歳女 2 名、7 歳男、4 歳女 ロタウイルス(+)
インフルエンザ ピークを越えました。

【春日町 丹羽医院】
インフルエンザA型 6 名、インフルエンザB型 6 名

【津島市 医療法人参育会加藤医院】

尾張東部地区

感染性胃腸炎が多い

インフルエンザはA型 6 名、B 型 1 名

【瀬戸市 津田こどもクリニック】
インフルエンザは全てA型となりました。
溶連菌感染症では丹毒の幼児例がありました。

その他流行性耳下腺炎、伝染性紅斑、アデノウイルス感染症等。

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
インフルエンザはB型が減少し、A型が増えています。

【春日井市 春日井市民病院】

インフルエンザ減少

ロタ胃腸炎多数続く

水痘、プール熱少々

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

A 型インフルエンザ 30 例

B 型インフルエンザ 4 例

【春日井市 医療法人聡彩会片山こどもクリニック】
ロタ腸炎、インフルエンザとも減少傾向です。

【小牧市 小牧市民病院】

インフルエンザ減少、A 型 25 例、B 型 7 例です。

A の 2 回罹患例が見られました。
ロタウイルス感染症は続いています。

【小牧市 志水こどもクリニック】
インフルエンザA型 2 人、B 型 1 人

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】
インフルエンザA、9 名

【半田市 医療法人林医院】
A 8 名、B 2 名

【半田市 医療法人おっかわこどもクリニック】
マイコプラズマ感染症 1
インフルエンザB型激減、かわりにA型が目立つ

【美浜町 厚生連知多厚生病院】
A 型 3

【南知多町 医療法人大岩医院】
A 型 13 名、B 型 5 名 インフルエンザの検出数減ってます。

【半田市 半田市立半田病院】
インフルエンザA型：7 名、B 型：1 名
胃腸炎が引き続き流行っています。
ロタウイルスがちらほらいます。

【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

インフルエンザ A (+) 2名 インフルエンザ B (+) 2名 ロタウイルス (+) 5名 StrepA (+) 2名 1歳男 E.coli O6 1歳男 E.coli O25+O74 【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】 インフルエンザA型 10名 インフルエンザB型 4名 【豊田市 田中小児科医院】 インフルエンザA型 10人 インフルエンザB型 2人 【豊田市 足助病院】 病原大腸菌O1 (+) 2歳男 インフルエンザ全員A型でした。 【岡崎市 花田こどもクリニック】 1歳女 ロタウイルス感染症 2歳男 マイコプラズマ感染症 1歳男 病原性大腸菌O1 VT(-) 1歳女 アデノウイルス感染症 4歳男 病原性大腸菌O74 VT(-) インフルエンザ激減しました。すべてA型です。 【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】 インフルエンザB 1、インフルエンザA 10 アデノ (+) 1歳男、2歳男 1歳女 病原性大腸菌O111 (+) VT(-) 2歳女 病原性大腸菌O18 (+) VT(-) 【岡崎市 にいのみ小児科】 感染性胃腸炎が多いようです。 インフルエンザは全てA型 【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】	インフルエンザA 2人、B 1人 【岡崎市 医療法人志貴こどもクリニック】 インフルエンザA型 8名(予防接種済4名) 【岡崎市 粟屋医院】 6名インフルエンザA型(全てワクチン接種なし) 【岡崎市 医療法人永坂内科医院】 インフルエンザは、殆どA型です。 【碧南市 永井小児クリニック】 まだインフルエンザあります。 【刈谷市 まついこどもクリニック】 インフルエンザA型 11名 ロタウイルス腸炎 1名 サルモネラO4 (+) 1名 マイコ感染症 5名 【刈谷市 田和小児科医院】 インフルエンザ 検体数 112 A型 31 B型 2 【安城市 厚生連安城更生病院】 インフルエンザA(のみ)21名 アデノウイルス陽性 3名 ロタウイルス陽性 13名 【知立市 宮谷クリニック】 A型3名 インフルエンザが少なくなりました。 【三好町 三好町民病院】 全員A型インフルエンザでした。 【安城市 鳥居医院】 1歳男 ロタウイルス腸炎 インフルエンザ10人全てA型 【西尾市 山岸クリニック】 少数ですが、まだインフルエンザがあります。 【幸田町 とみた小児科】
---	---

東三河地区

アデノ扁桃炎が増加しています(7名) 【豊橋市 マミーローズクリニック】 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が増えています。 【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】 1歳男 マイコプラズマ肺炎 【豊橋市 医療法人野村小児科】 インフルエンザA型9名、インフルエンザB型2名 【豊橋市 おだかの医院】	インフルエンザはA型34名、B型5名の計39名でした 【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】 インフルエンザはA型 RS細気管支炎の入院3名あり 【豊川市 豊川市民病院】 病原性大腸菌(O-1)2歳女 【豊川市 ささき小児科】
---	---

四類・五類(全数把握)感染症の発生状況 - 愛知県(名古屋市を除く。) -

<関連リンク> 届出基準 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun070401.pdf>)

後天性免疫不全症候群 3例

AIDS、推定感染地域；国内、推定感染経路；性的接触

AIDS、推定感染地域；国内、推定感染経路；性的接触

無症候期、推定感染地域；国内、推定感染経路；性的接触

トピックス

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(感染症法)の一部改正

感染症法の一部を改正する法律が平成 18 年 12 月 8 日に公布されました。「感染症の分類の見直し」に関するものは平成 19 年 4 月 1 日に施行され、これに伴い全数報告の分類が下表のとおり変更されました。

新しい届出基準および届出様式は以下のウェブページをご覧ください。

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

なお、「愛知県感染症情報」の「一～五類感染症(全数把握対象)発生状況」について、本号に掲載の「平成 19 年 3 月分月報」までは従前の分類とし、「平成 19 年 4 月分月報」からは、新しい分類で掲載します。

改正前		改正後
エボラ出血熱 クリミア・コンゴ出血熱 痘そう ペスト マールブルグ病 ラッサ熱	一類感染症	エボラ出血熱 クリミア・コンゴ出血熱 痘そう 南米出血熱(追加) ペスト マールブルグ病 ラッサ熱
重症急性呼吸器症候群(SARS コロナウイルスに限る)		
急性灰白髄炎 ジフテリア コレラ 細菌性赤痢 腸チフス パラチフス	二類感染症	急性灰白髄炎 結核(追加) ジフテリア 重症急性呼吸器症候群(SARSコロナウイルスに限る)
腸管出血性大腸菌感染症	三類感染症	コレラ 細菌性赤痢 腸管出血性大腸菌感染症 腸チフス パラチフス
E型肝炎 ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎含む) など30疾病を政令等で指定	四類感染症	改正前の30疾病に以下の疾病を追加 オムスク出血熱 キャサヌル森林病 西部ウマ脳炎 ダニ媒介脳炎 東部ウマ脳炎 鼻疽 ベネズエラウマ脳炎 ヘンドラウイルス感染症 リフトバレー熱 類鼻疽 ロッキー山紅斑熱 合計41疾病を政令で指定
41疾病を省令等で指定	五類	変更なし
インフルエンザ(H5N1)	指定	変更なし

3 月の一～五類感染症（全数把握対象）発生状況

「診断日」に基づく集計です。

平成 18 年度に発生があった疾病名 内は全数把握対象疾病数	平成 19 年 3 月			平成 18 年度 累 計 <愛知県全体>	内 訳 (3 月)	
	愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県 全体			
一類 感染症 7				発生報告無し		
二類 感染症 6	コ レ ラ			4〔2〕		
	細 菌 性 赤 痢	6		6	37	
	腸 チ フ ス				5	
	パ ラ チ フ ス				3	
三類 感染症 1	腸管出血性大腸菌症 感 染	2	1(1)	3(1)	208(70) O157 3 件	
四類 感染症 30	E 型 肝 炎				4	
	A 型 肝 炎	1	1	2	10	
	つ つ が 虫 病				6	
	デ ン グ 熱				4	
	マ ラ リ ア				1	
	ラ イ ム 病				1	
	レ ジ オ ネ ラ 症	1	3	4	40	
五類 感染症 14	ア メ ー バ 赤 痢	4	1	5	53	
	ウ イ ル ス 性 肝 炎 (E 型 肝 炎 及 び A 型 肝 炎 を 除 く。)				7	
	急 性 脳 炎 (ウ エ ス ト ナ イ ル 脳 炎 及 び 日 本 脳 炎 を 除 く。)				3	
	ク ロ イ ツ フ ェ ル ト ・ ヤ コ ブ 病		1	1	11	孤発性 1 件
	劇 症 型 溶 血 性 性 レ ン サ 球 菌 感 染 症	1	1	2	8	
	後 天 性 免 疫 不 全 症 候 群	4	5	9	115	A I D S 2 件 無 症 候 性 7 件
	ジ ア ル ジ ア 症				2	
	髄 膜 炎 菌 性 髄 膜 炎				2	
	梅 毒	2		2	50	早期顕症 2 件
	破 傷 風				4	
バ ン コ マ イ シ ン 耐 性 腸 球 菌 感 染 症	1		1	1		

〔 〕 内は疑似症患者再掲

() 内は無症状病原体保有者再掲

五類感染症（月報定点把握対象）発生状況

No	疾 病 名	平成 19 年 3 月			平成 19 年 2 月		
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県 全体
1	性器クラミジア感染症	92	28	120	77	33	110
2	性器ヘルペスウイルス感染症	21	10	31	19	5	24
3	尖圭コンジローマ	24	6	30	26	6	32
4	淋菌感染症	44	21	65	30	15	45
5	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	63		63	54	5	59
6	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2		2	5		5
7	薬剤耐性緑膿菌感染症				1		1

上記の報告数は感染症月報指定届出機関(性感染症 : 51、基幹 : 13 医療機関) で把握したものです。

感染症の類型及び定義

類 型	定 義
一類感染症 (7 疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (6 疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (1 疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (30 疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症（人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。）
五類感染症 (42 疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
指定感染症 (1 疾病)	既知の感染症（一～三類感染症を除く）のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与える恐れがあるもの。一年間に限定した指定。インフルエンザ（H5N1）が平成 18 年 6 月 2 日に指定された。

愛知県感染症情報

2007年第14週(平成19年4月2日～平成19年4月8日)

愛知県衛生研究所

		定点数																									
愛知県		インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹	RSウイルス感染症	鳥インフルエンザ(高病原性インフルエンザを除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
愛知県 (名古屋市を含む)		195	182	35	51	13	11	1,815	39	215	1,117	342	4	96	116	0	0	3	0	50	2	7	0	0	3	0	0
総数 (名古屋市は除く)		125	112	24	37	12	10	1,456	32	129	804	250	2	65	93	0	0	1	0	36	2	5	0	0	3	0	0
名古屋	名古屋市	70	70	11	14	1	1	359	7	86	313	92	2	31	23			2		14		2					
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1		75	3	7	43	10		2	4					2							
海部	津島	7	7	2	2	1		97	4	5	114	27	1	5	12					2					3		
尾張中部	師勝	4	4	1	1			44		2	15	4								1	1						
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1		150		6	61	22	1	7	9							1					
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1	2	180	8	11	73	29		10	11			1		4		1					
	江南	6	6	1	2		1	54	1	9	55	17		6	6					1							
知多半島	半田	6	6	1	2	1		68	4	10	34	27		7	8					9							
	知多	7	7	2	2			71	3	3	51	18		3	5					5							
西三河南部	岡崎市	11	7	2	2	1	1	58	1	16	57	21		6	14					4							
	衣浦東部	13	13	2	4	1		181	5	15	80	16		6	8												
	西尾	5	5	1	2	1		24		6	27	18		1	3												
西三河北部	豊田市	9	9	2	4	1	1	158		13	96	13		3	6					5							
東三河南部	豊橋市	12	8	2	4	1		194	3	16	53	7		4	5					1		1					
	豊川	9	8	1	2	1	4	80		10	45	21		5	2					1	1	2					
東三河北部	新城	2	2			1	1	22												1							

